

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年7月26日(2018.7.26)

【公開番号】特開2017-158605(P2017-158605A)
 【公開日】平成29年9月14日(2017.9.14)
 【年通号数】公開・登録公報2017-035
 【出願番号】特願2016-43006(P2016-43006)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月14日(2018.6.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

図柄表示手段において、図柄の変動表示を行い、当該図柄の変動表示を停止して特定の図柄を表示すると、遊技者にとって有利な特別遊技を実行する遊技機であって、

前記特別遊技を実行するか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段による判定の結果に基づいて、前記図柄の変動表示の変動パターンを複数の中から 1 つ決定する変動パターン決定手段と、

前記変動パターン決定手段によって決定された前記変動パターンに基づいて、所定の演出手段において、変動演出を行う演出制御手段と、を備え、

前記変動演出において出現可能な複数の所定の演出の各々を構成する共通の要素の態様として、第 1 態様、該第 1 態様よりも前記特別遊技が実行される可能性が高いことを示す第 2 態様、および該第 2 態様よりも前記特別遊技が実行される可能性が高いことを示す第 3 態様が設けられており、

相対的に前記特別遊技が実行される期待度の高い第 1 変動演出において前記第 3 態様が出現する回数は、相対的に前記特別遊技が実行される期待度の低い第 2 変動演出において前記第 3 態様が出現する回数よりも多くなり易いことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記第 1 変動演出及び前記第 2 変動演出の何れにおいても、前記第 2 態様は前記第 3 態様よりも高確率で出現することを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の遊技機は、図柄表示手段において、図柄の変動表示を行い、当該図柄の変動表示を停止して特定の図柄を表示すると、遊技者にとって有利な特別遊技を実行する遊技機であって、前記特別遊技を実行するか否かを判定する判定手段と、前記判定手段による判定の結果に基づいて、前記図柄の変動表示の変動パターンを複数の中から 1 つ決定する変動パターン決定手段と、前記変動パターン決定手段によって決定された前記変動パターン

に基づいて、所定の演出手段において、変動演出を行う演出制御手段と、を備え、前記変動演出において出現可能な複数の所定の演出の各々を構成する共通の要素の態様として、第1態様、該第1態様よりも前記特別遊技が実行される可能性が高いことを示す第2態様、および該第2態様よりも前記特別遊技が実行される可能性が高いことを示す第3態様が設けられており、相対的に前記特別遊技が実行される期待度の高い第1変動演出において前記第3態様が出現する回数は、相対的に前記特別遊技が実行される期待度の低い第2変動演出において前記第3態様が出現する回数よりも多くなり易いことを特徴とする。

また、本発明の遊技機は、前記第1変動演出及び前記第2変動演出の何れにおいても、前記第2態様は前記第3態様よりも高確率で出現することを特徴とする。